



「きょう谷^{こく}」はどのようにしてできるの

きょう谷^{こく}は深く^{ふか}くてせまい

きょう谷^{こく}は、長く^{なが}くて深く^{ふか}く、せまい^{たに}谷^{きゅう}で、急^{めん}なしゃ面^{めん}にはさまれています。ときには、そのしゃ面^{めん}が、垂直^{すいちよく}に切り立^きっていることもあります。

1本の川^{ほん}でけずられた、みぞ^{かわ}のようなきょう谷^{こく}や、川の支流^{しりゅう}が本流^{ほんりゅう}と合わさっている、きょう谷^{こく}もあります。

川の流^{なが}れが速^{はや}く、土地^{とち}がもりあ^あがったりするとき

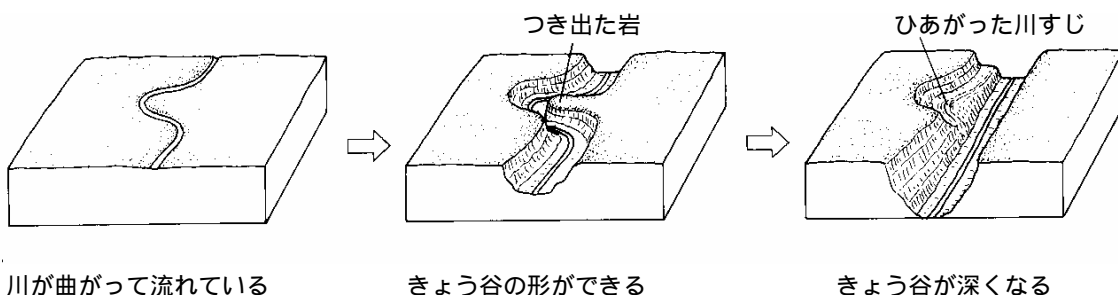
きょう谷^{こく}ができるには、川の流^{なが}れが速^{はや}いことが必要^{ひつよう}です。川の流^{なが}れが、速^{はや}ければ速^{はや}いほど、運^{はこ}ばれる岩石^{がんせき}や石^{いし}などの量^{りょう}が多^{おお}くなります。

川底^{かわぞこ}をころがったり、はずんだりして流^{なが}れる、岩石^{がんせき}や石^{いし}などの量^{りょう}が増^ふえるほど、川底^{かわぞこ}がどんどんけずられていきます。また、土地^{とち}がもりあ^あがったり、かたむいたりするはたらきも、きょう谷^{こく}ができる原因^{げんいん}の一つになります。

地面^{じめん}がかたむくと、今^{いま}までゆっくりと、曲^まがりくねって流^{なが}れていた川^{かわ}が、急^{きゅう}に速^{はや}くなり川底^{かわぞこ}を深く^{ふか}くけずります。このようにして、きょう谷^{こく}はできあがっていきます。

(監修・国司・真)

きょう谷^{こく}のでき方



川が曲がって流れている

きょう谷の形ができる

きょう谷が深くなる

